

平田地区
復興まちづくり協議会・地権者連絡会

平成27年3月10日(火)
18：30～

次 第

1. 挨拶
2. 工事進捗状況及びスケジュールについて
3. 宅地整備基準（案）について
4. 災害危険区域の指定について
5. 公開試験盛土の開催結果について
6. 平田漁港海岸防潮堤について
7. 釜石港湾口防波堤の復旧状況について
8. 意見交換

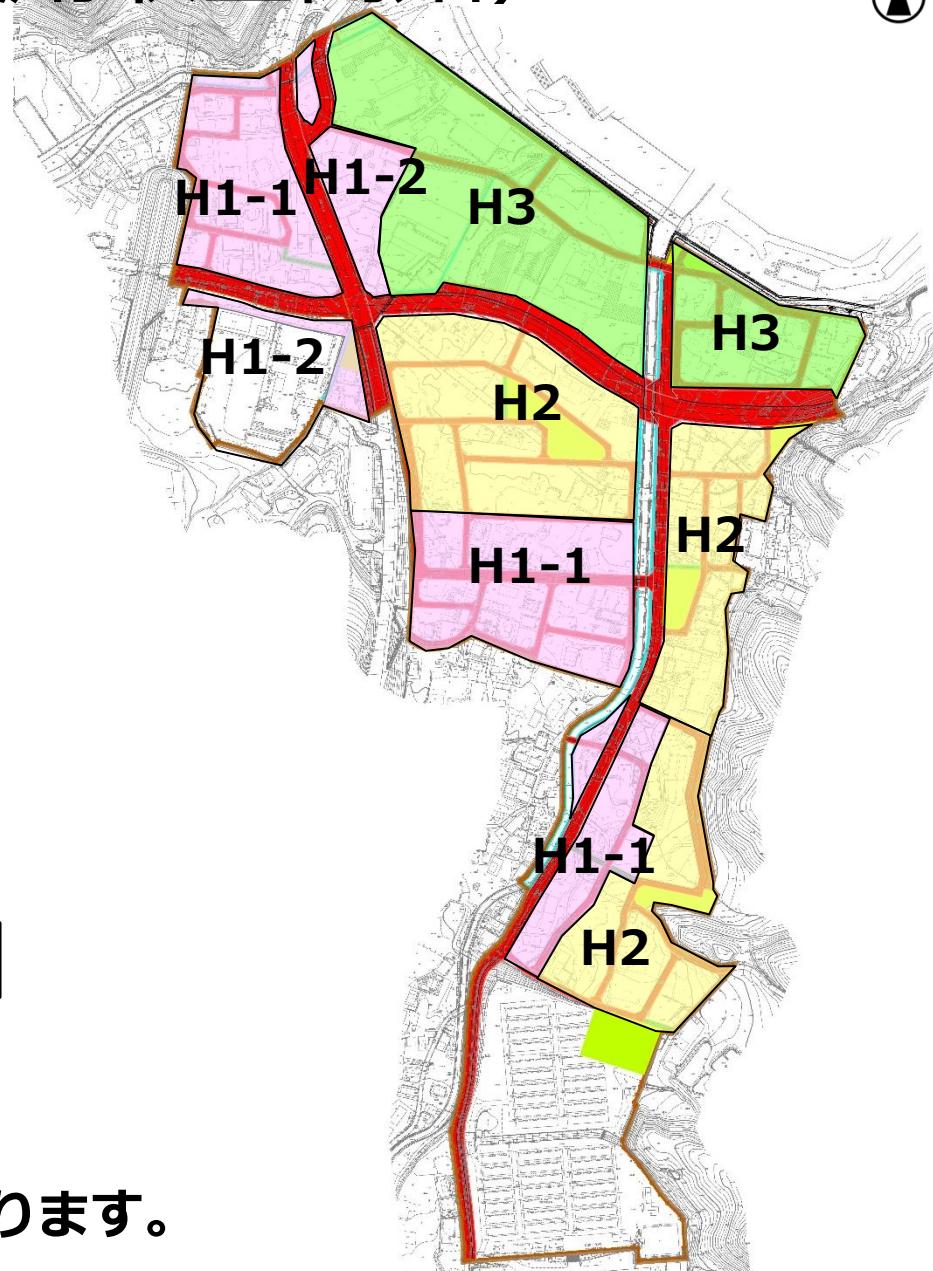
1. 挨拶

2. 工事進捗状況及びスケジュールについて

宅地引渡し予定（使用収益開始）

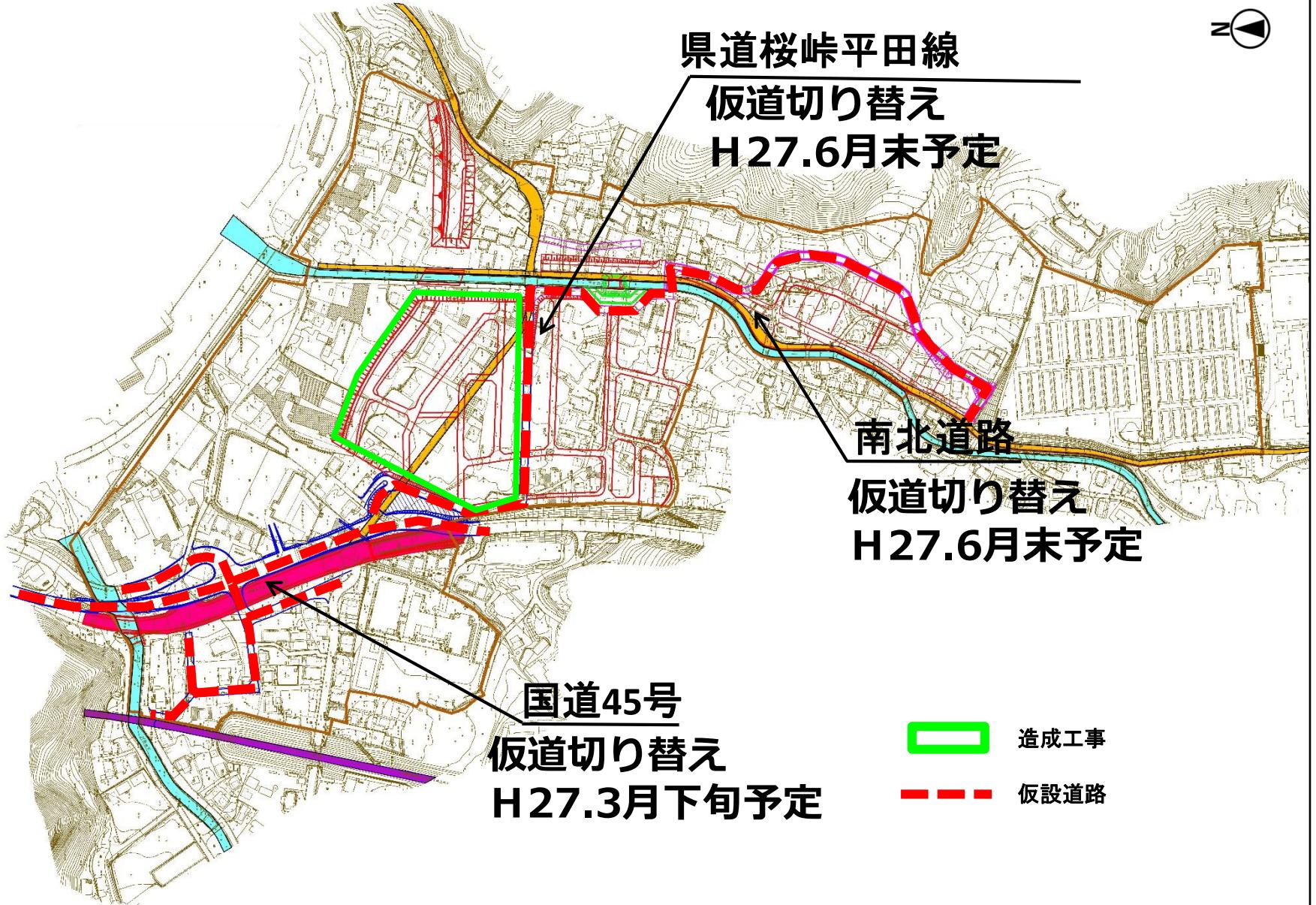


H27	H28		H29		
12	1	12	1	12	
	H1-1				
		H1-2			
			H2		
				H3	

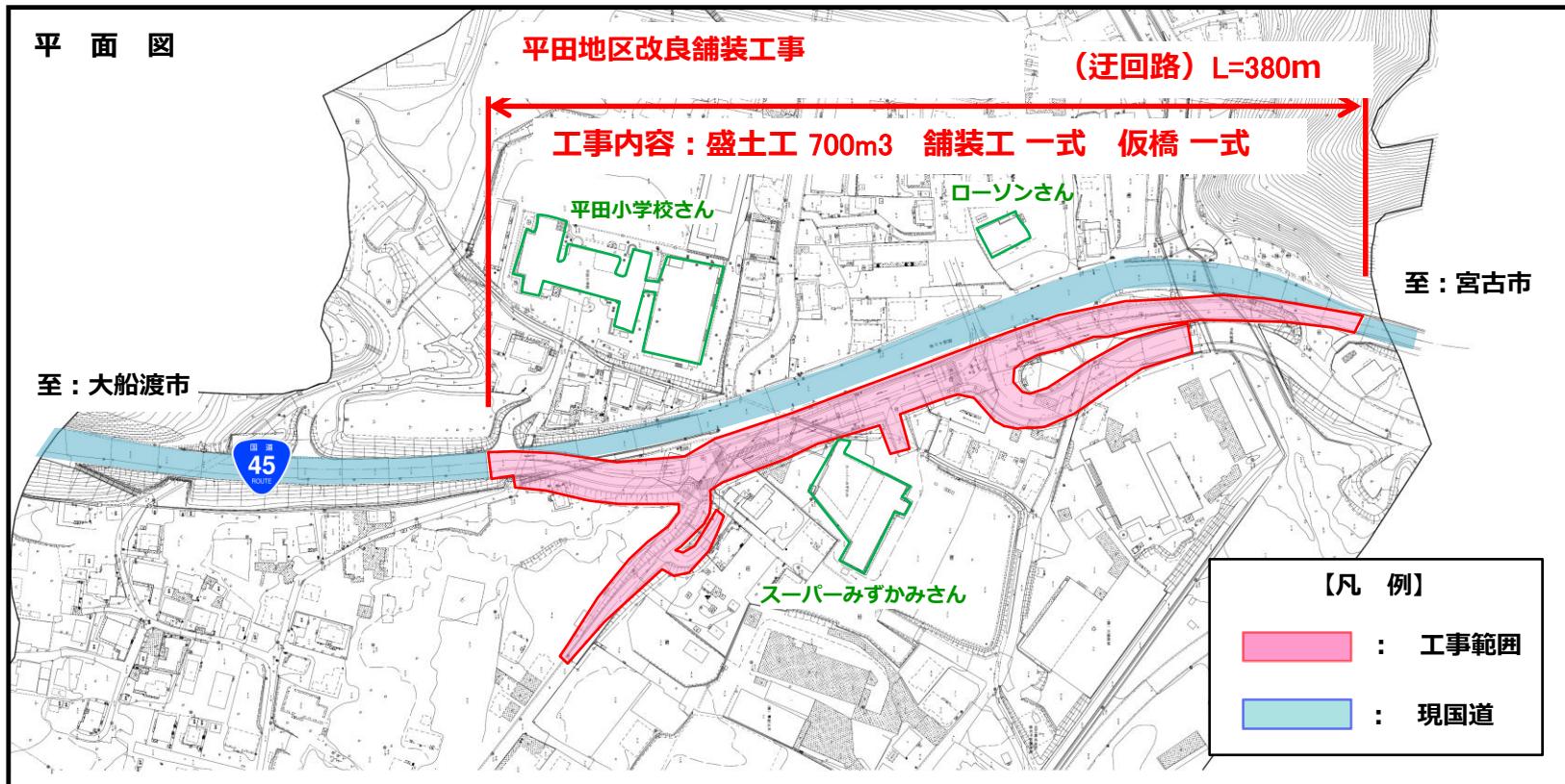


※ 状況に応じて変更することがあります。

工事の状況



国道工事 当初計画の変更



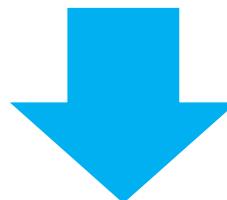
※前回まちづくり協議会資料より

前回まちづくり協議会提示時点

H26.12月切り替え予定

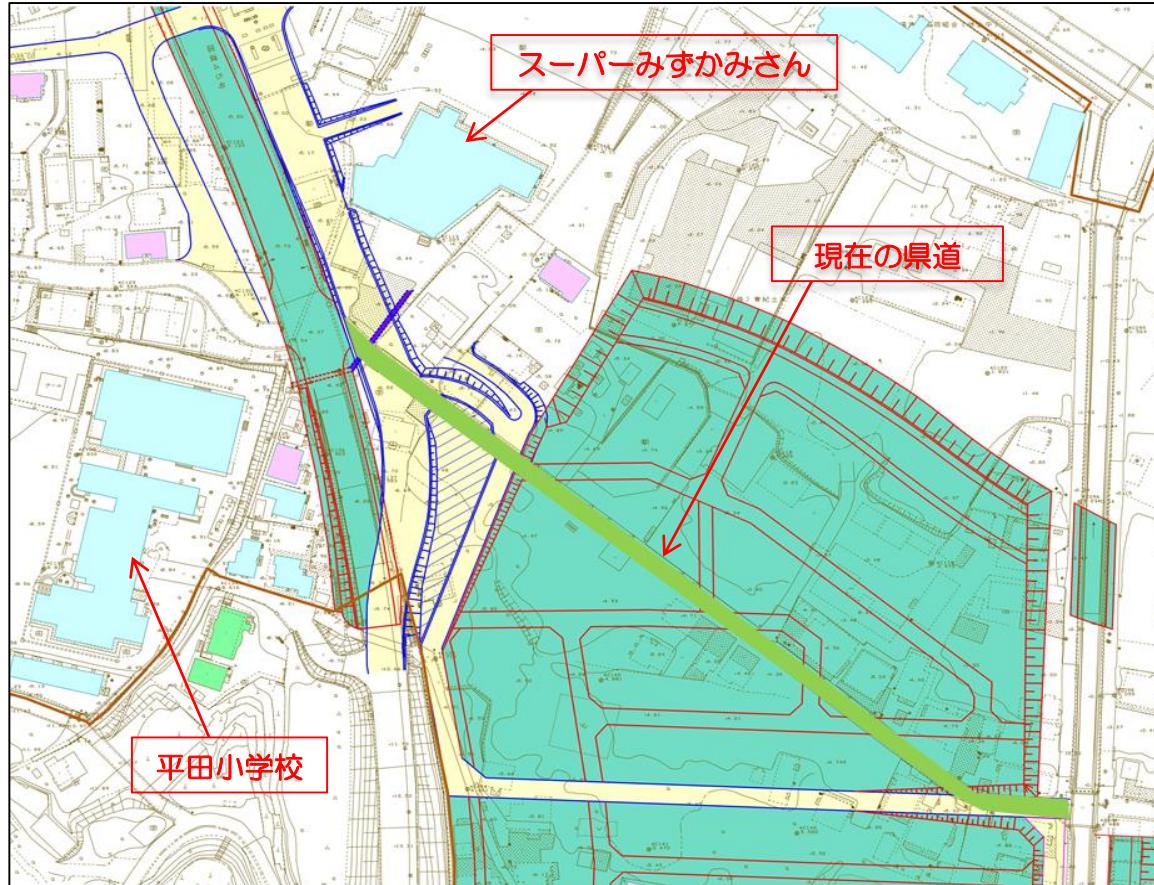
【変更理由】

- ・仮設橋の工事遅延
→当初想定していた転石よりも大きく
杭が入らず、工事が難航したため。



H27.3月下旬切り替え予定

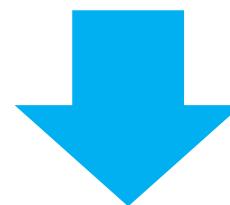
県道工事 当初計画の変更



前回まちづくり協議会提示時点 H26.12月切り替え予定

【変更理由】

- ・支障物件の移設調整に時間を要したこと
- ・仮設国道への切り替え時期変更の影響



H27.6月末切り替え予定

南北道路 今後の見通し

【現在の状況】

①仮橋の位置を変更

→地域に説明のうえ、工事着手

【仮設道路への切り替えの見込み】

H27.4月切り替え予定



H27.6月末切り替え予定

【変更理由】

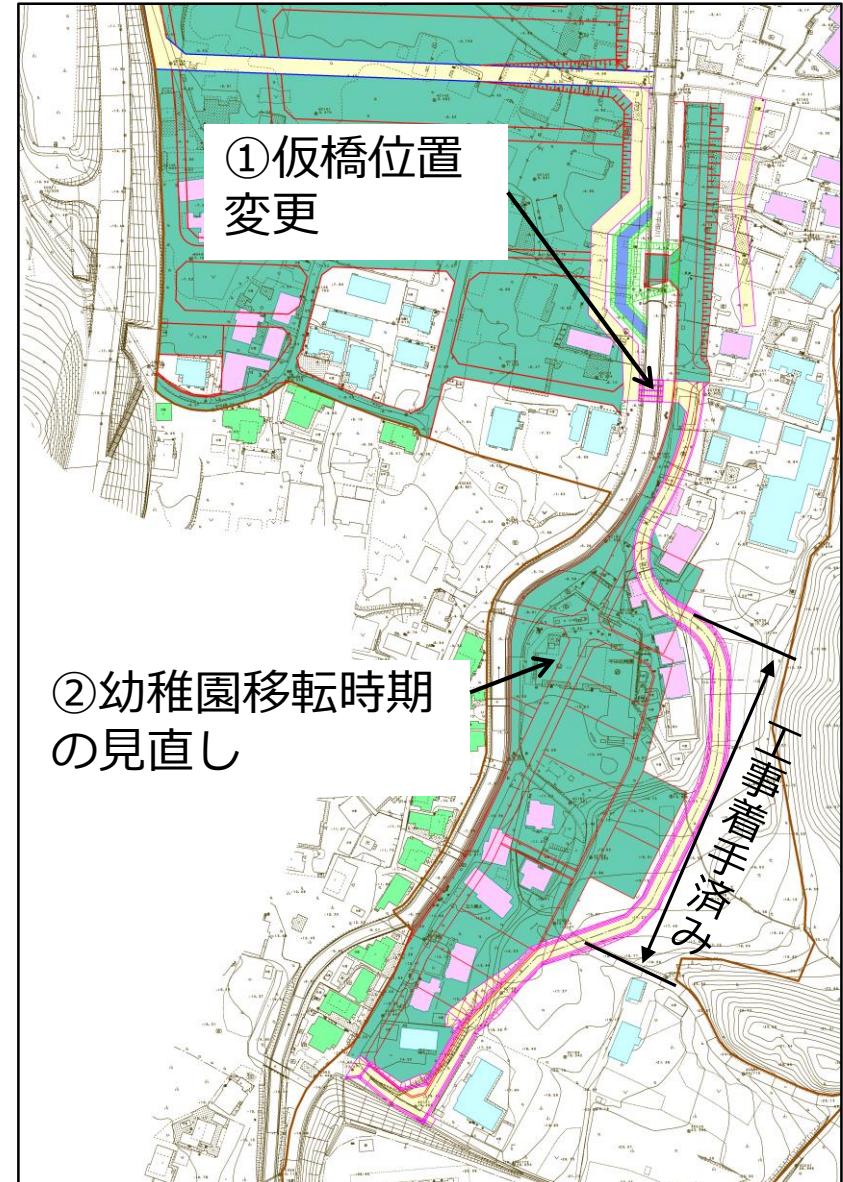
- ・仮設道路線形の見直しによる影響

【現在の状況】

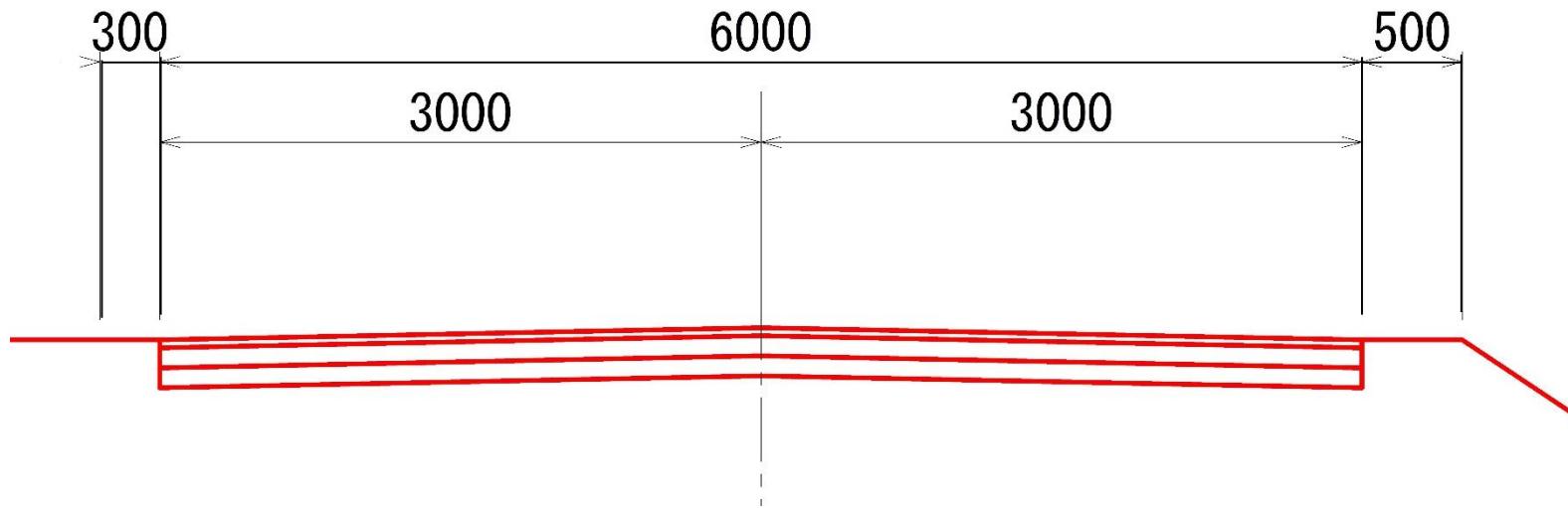
②幼稚園の移転時期の見直し

→移転先の埋蔵文化財調査が必要となつたため当初予定より変更

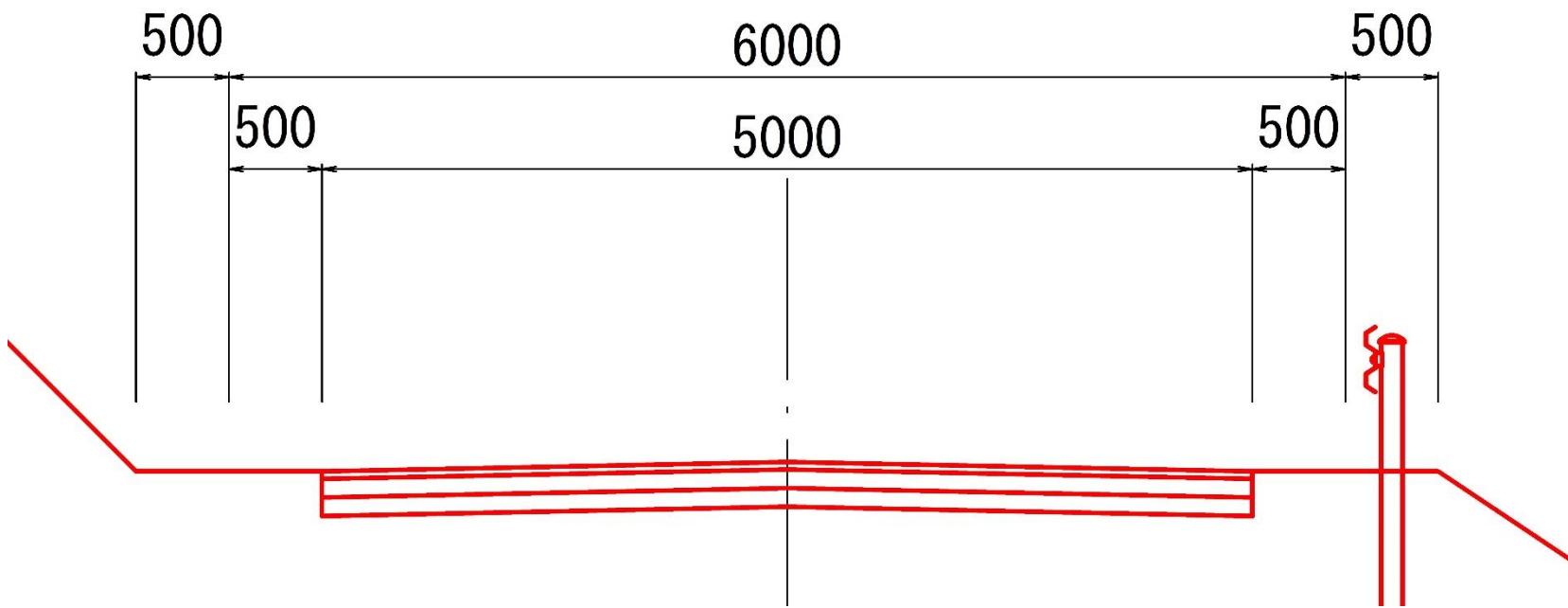
→仮設道路の交通処理等について地域に説明し、予定通り南北道路の工事着手



仮設道路標準断面（県道）



仮設道路標準断面（南北道路）



3. 宅地整備基準（案）について

宅地整備基準（案）について

（1）宅地整備

①宅地の計画地盤高

宅地の計画地盤高は、原則として宅地が接する計画道路より高く設定します。

②宅地の高低差処理

宅地と道路及び宅地間に生じる高低差の処理は、以下の表のとおりとします。

高低差処理

30cm未満

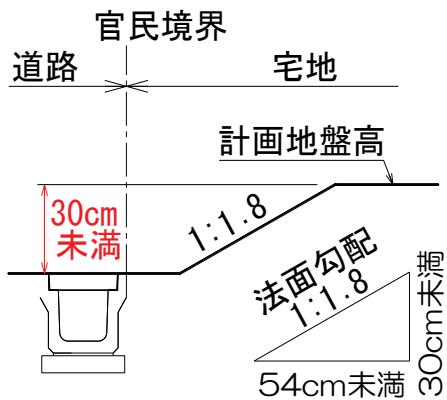
擁壁は設置しません。

30cm以上

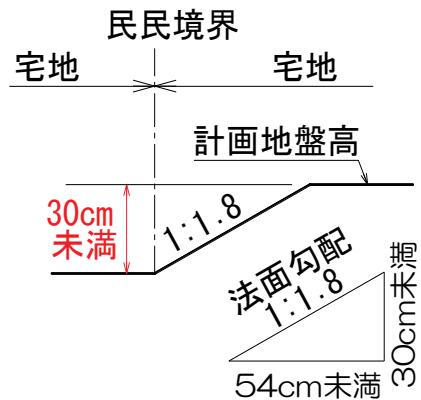
擁壁を設置します。

【標準図】

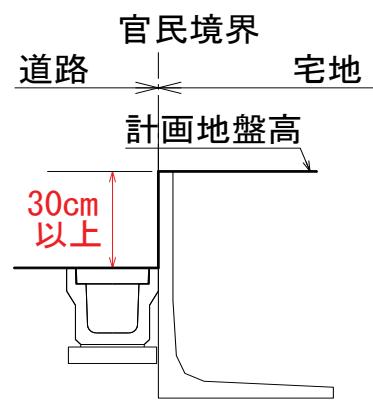
(官民界の場合)



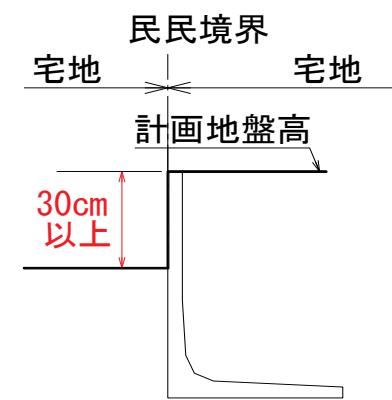
(民民界の場合)



(官民界の場合)



(民民界の場合)

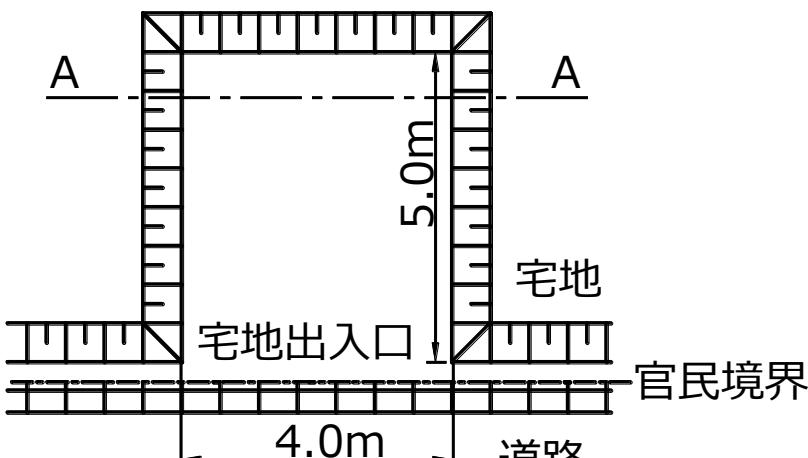


③宅地出入り口

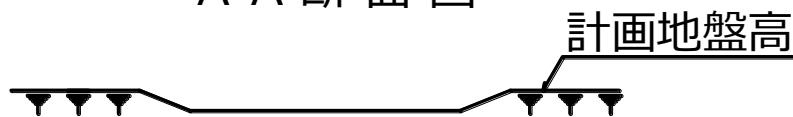
- (イ) 宅地が計画道路に接する部分に、原則として画地に 1 箇所幅 4.0 m、奥行き 5.0 m の宅地出入り口を設けます。
- (ロ) 原則として道路と宅盤との高低差の小さい側に設置します。
- (ハ) 宅地出入口が歩道付道路に面する場合は、車の乗り入れを想定し歩道の切り下げを行います。その場合の切り下げの間口は原則として 4.0 m とします。

【標準図】

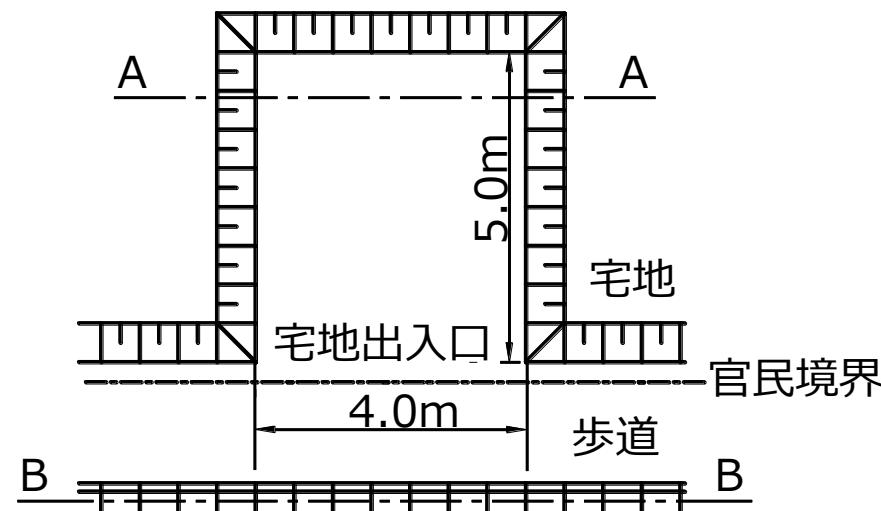
(1) 歩道なし(U字側溝)の場合



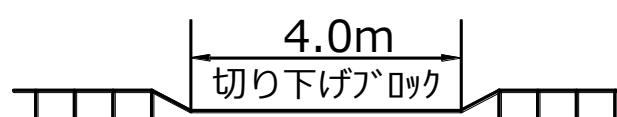
A-A 断面図



(2) 歩道ありの場合



B-B 断面図

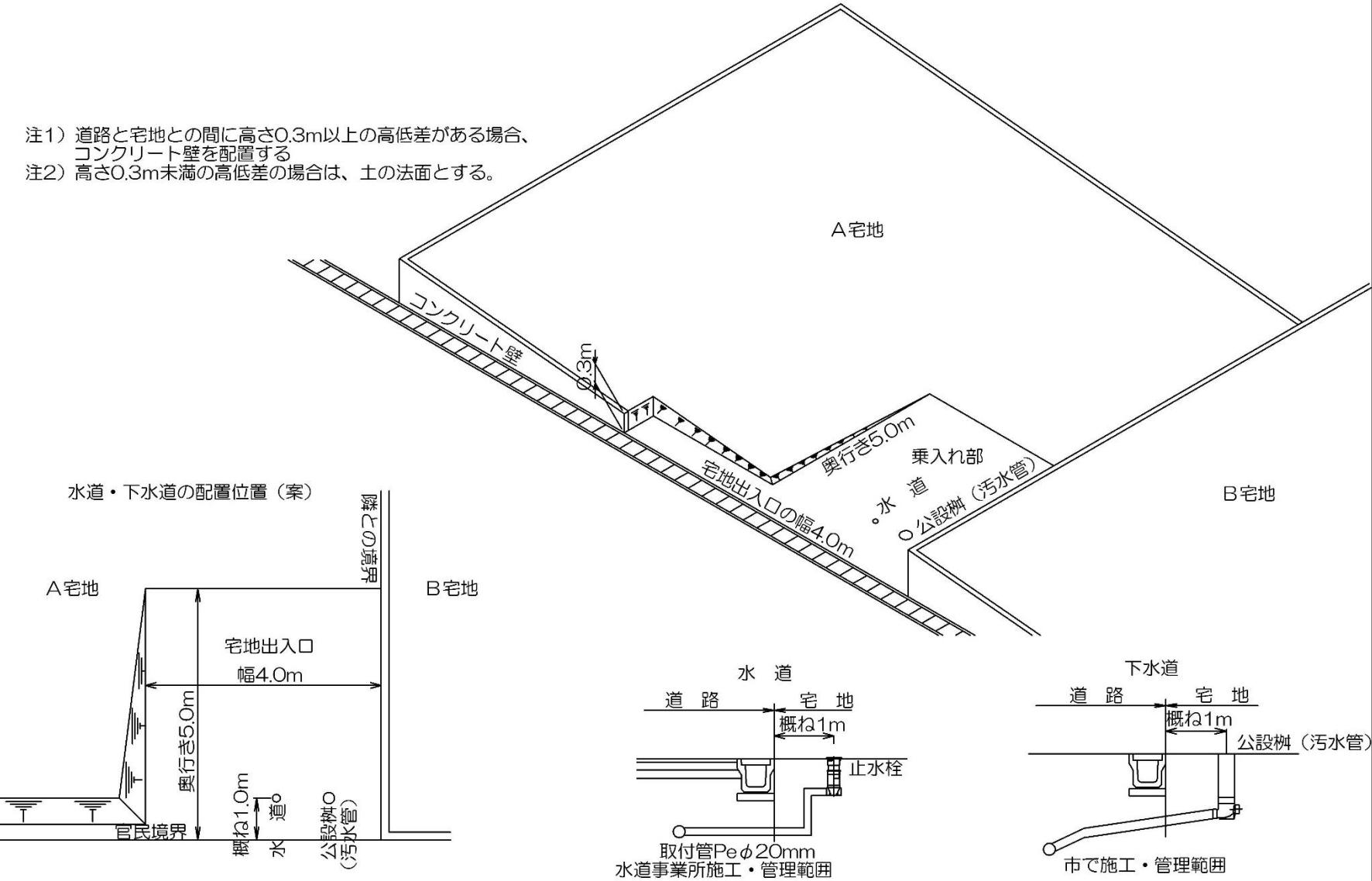


(2) 宅地への供給処理施設の引き込み

供給処理施設（公設枠（污水枠）及び上水道取付管）を原則として
1画地に1箇所、宅地の出入口部に設置します。

【宅地造成の姿図概要】

注1) 道路と宅地との間に高さ0.3m以上の高低差がある場合、
コンクリート壁を配置する
注2) 高さ0.3m未満の高低差の場合は、土の法面とする。



4. 災害危険区域の指定について

災害危険区域の指定について



5. 公開試験盛土の開催結果について

■公開試験盛土を開催いたしました

日時：H26年12月14日（日）9:00～10:00

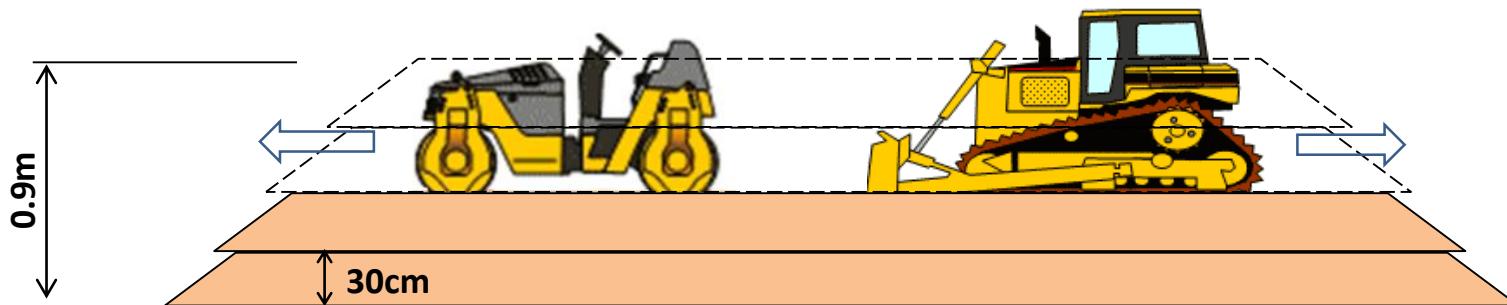
住民参加人数：28名（平田会場）

目的

釜石市の復興事業はマサ土(かこう岩が土砂になったもの)が多く、実際に見て、さわって、体感していただき、安全性を確認すると共に安心感を提供することを目的とする。

実施内容

- 「安全」を確認する試験盛土
①盛土モデル、②施行例（実施事例）、③盛土基準の説明
- 「安心」を確認してもらう試験盛土
1層当たり30cmごとの締め固め施工実演を実施。



締め固めイメージ



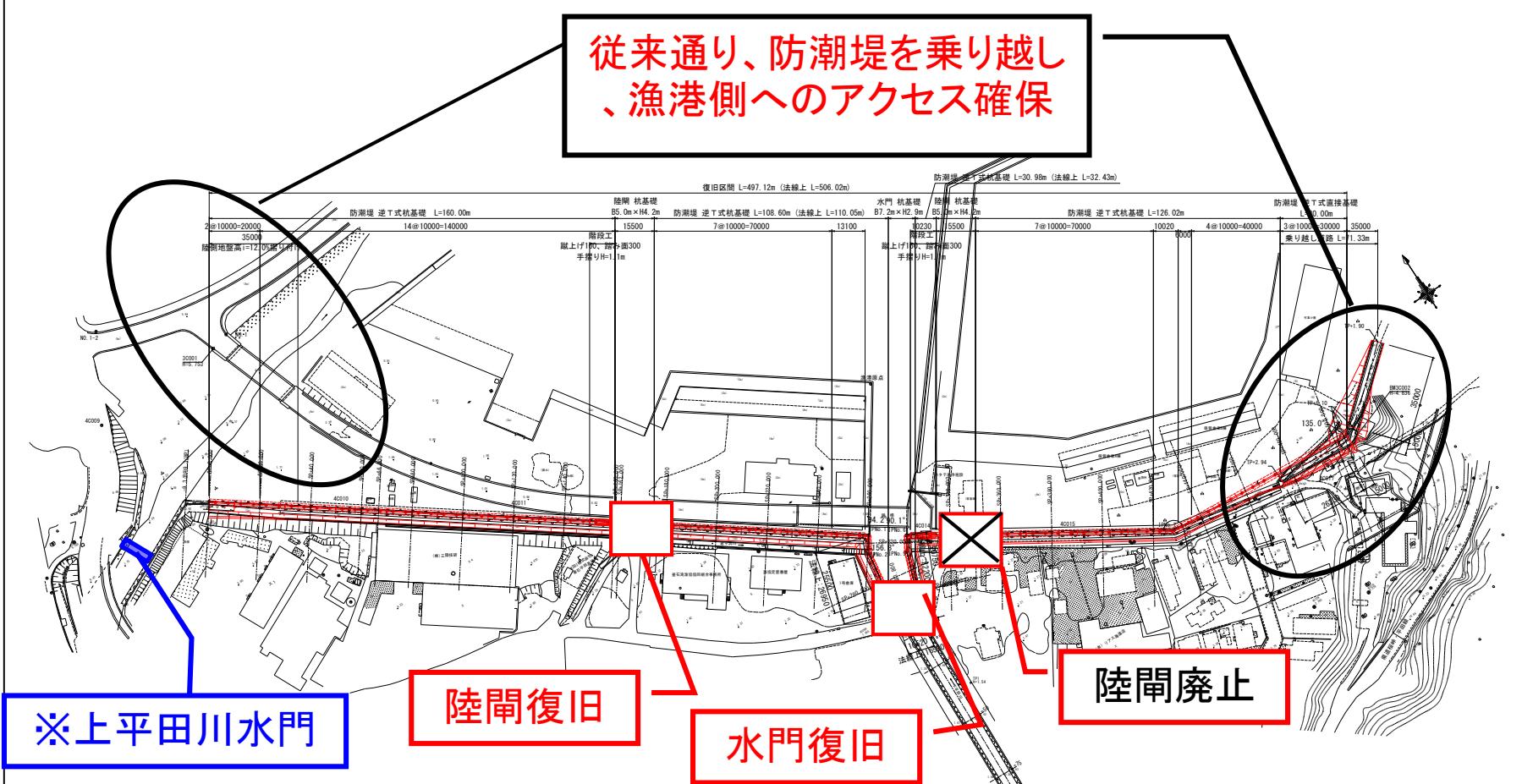
公開試験盛土の様子

公開試験盛土の結果、マサ土（かこう岩が土砂になったもの）を適切に処理して使用すると、安全であることが確認されました。

6. 平田漁港海岸防潮堤について

復旧計画の平面

従来通り、防潮堤を乗り越し
、漁港側へのアクセス確保



既存 水門1基 陸閘2基 → 復旧 水門1基 陸閘1基

陸閘2基から1基に廃止し、集約化を図る

※上平田川水門は区画整理事業で整備

計画平面図

平田漁港海岸

復旧計画の断面

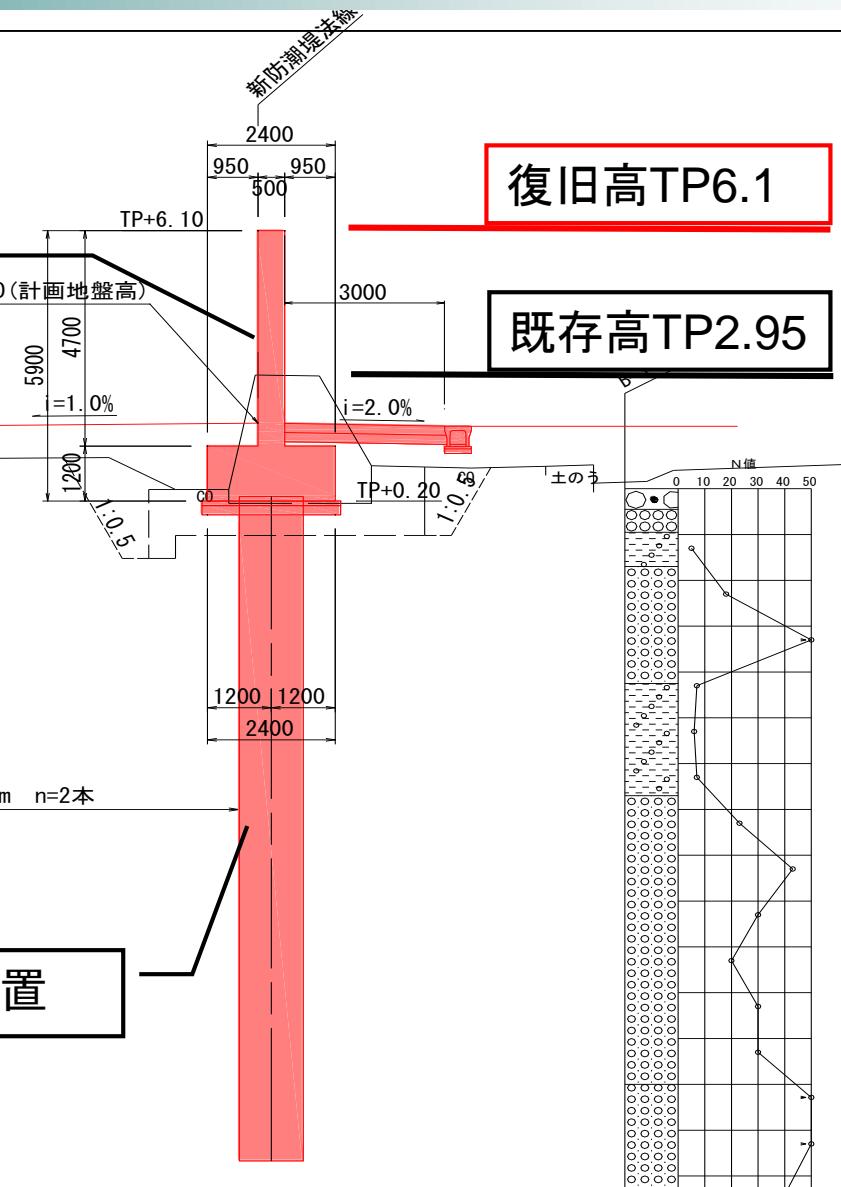
標準断面図

鉄筋コンクリート

復旧高TP6.1

既存高TP2.95

T. P. +0. 00 $\begin{array}{r} \swarrow \\ \equiv \\ \searrow \end{array}$ H. W. L TP+0. 04
 $\begin{array}{r} \swarrow \\ \equiv \\ \searrow \end{array}$ R. W. L TP+0. 14
 $\begin{array}{r} \swarrow \\ \equiv \\ \searrow \end{array}$ L. W. L TP-0. 86



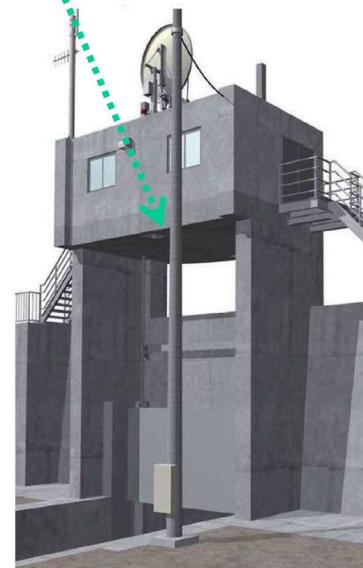
液状化対策の為に杭を設置

安全設備の事例①

監視カメラ

水門陸閘操作の際に周辺の安全確認、ゲート動作確認を行う。

陸側からの視点



回転灯

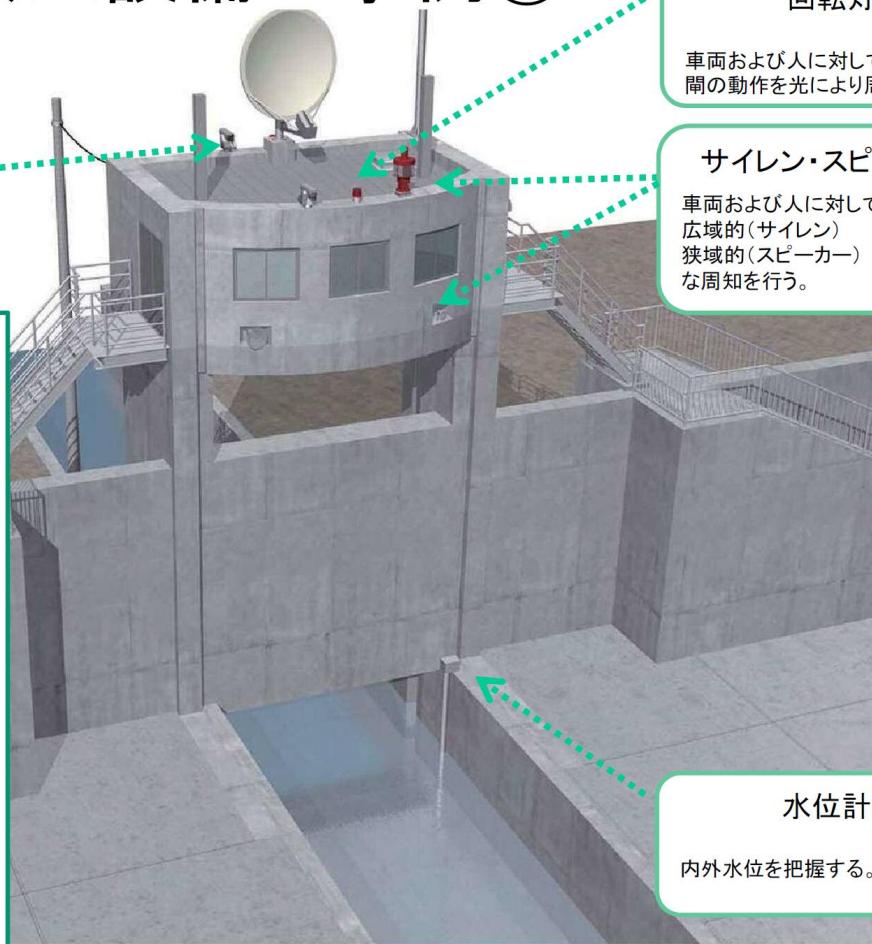
車両および人に対して、水門陸閘の動作を光により周知を行う。

サイレン・スピーカー

車両および人に対して、
広域的(サイレン)
狭域的(スピーカー)
な周知を行う。

水位計

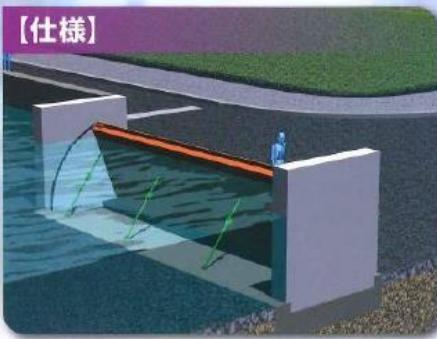
内外水位を把握する。



操作不要門扉

neo RiSe 土木仕様

[仕様]



[仕様]

- 間口/1m~5m(記載寸法以上は応談)
- 総荷重/T-25

[適用範囲]

- 防潮堤開口部や河川堤防開口部に設置される陸閘ゲート
- 立体交差部のボックスカルバート内に設置される陸閘ゲート

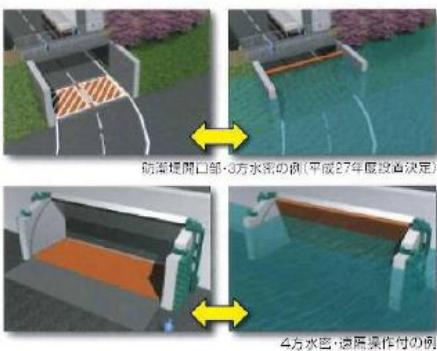
[対象]

- 波浪、高潮、洪水、ゲリラ豪雨 等

[駆動方式]

- 浮力
- 浮力+手動起立装置

[適用事例]



その他



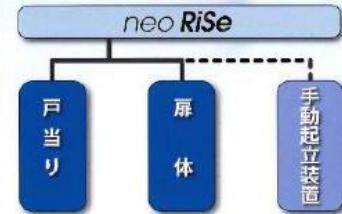
操作不要の自立防潮壁——3つの特長



特長 1 シンプルな機器構成 無動力で操作不要



浮体活用によるシンプルな機器構成により、
信頼性向上と人的負担を軽減。
また、メンテナンスも簡単です。



特長 2 上載荷重に対する頑強さと軽さの両立 (走行車両)

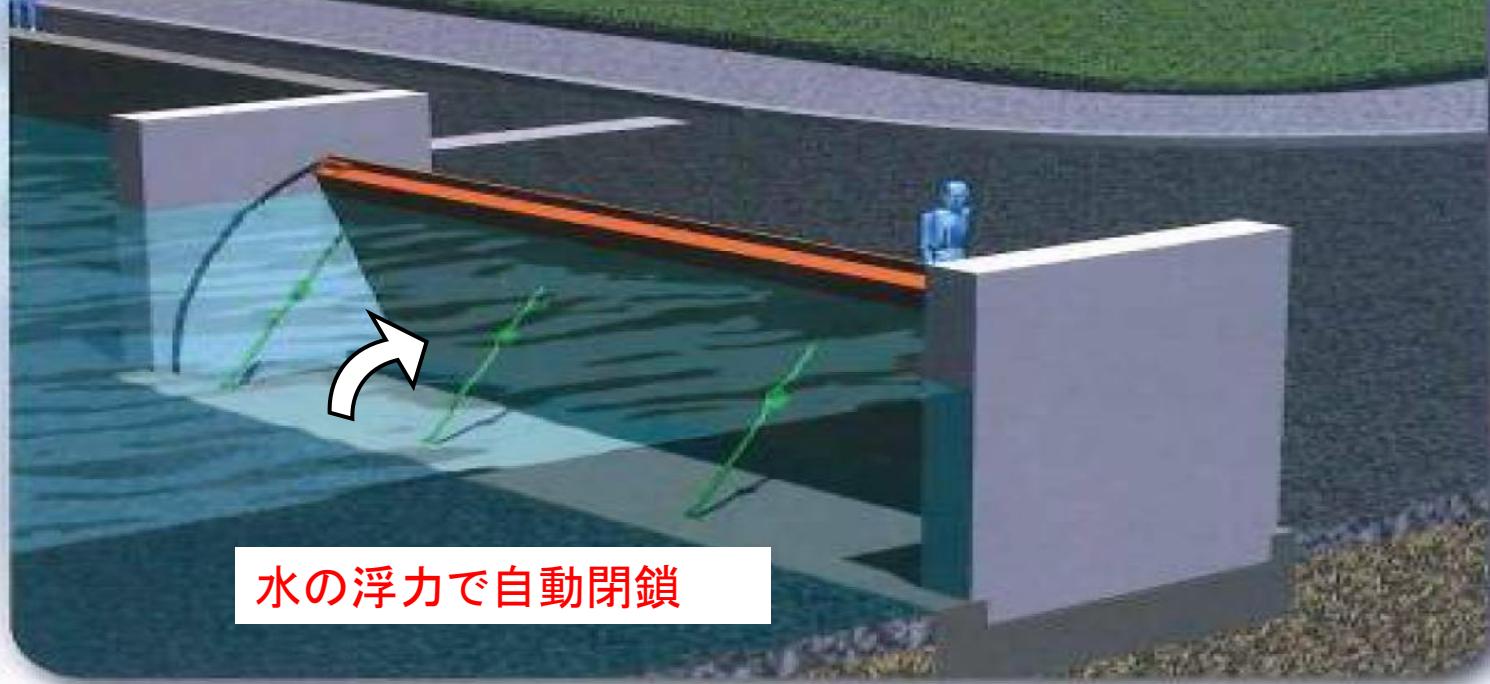


特長 3 水位に追従した滑らかな動作 素早い起立動作と衝撃吸収



【仕様】

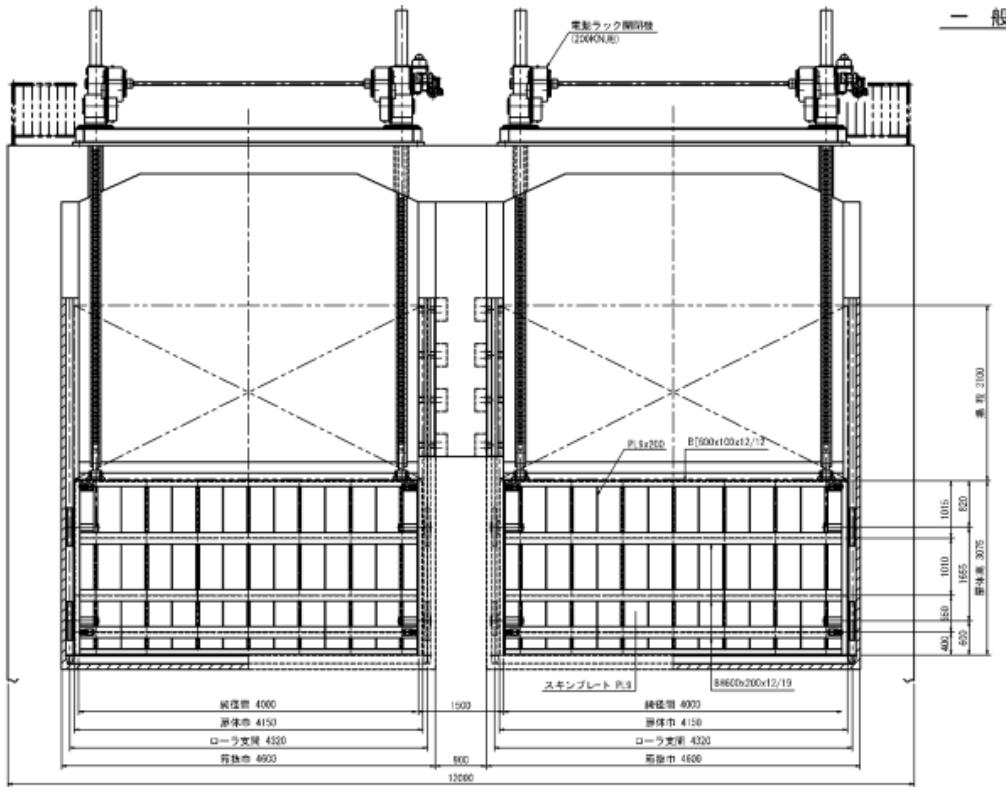
イメージ図



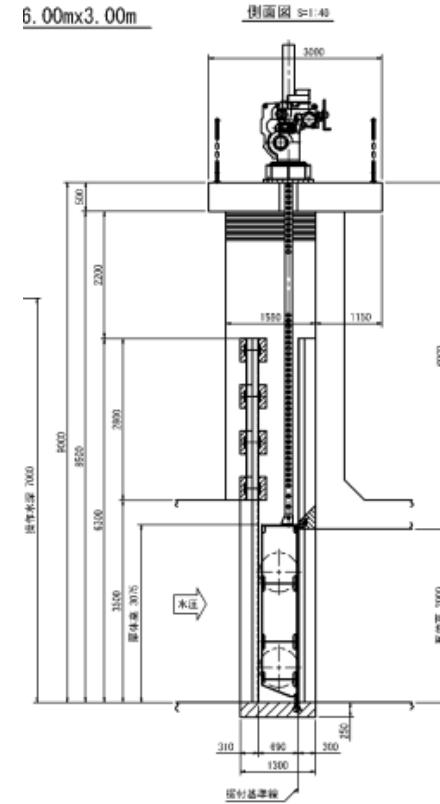
- ・水による浮力にて閉鎖
- ・人的操作不要

上平田川水門計画

正面図



侧面図



※水門図面は基本設計時の図面を使用しており、今後詳細設計において変更する可能性があります

工程表

平田漁港海岸事業

上平田川水門の工程

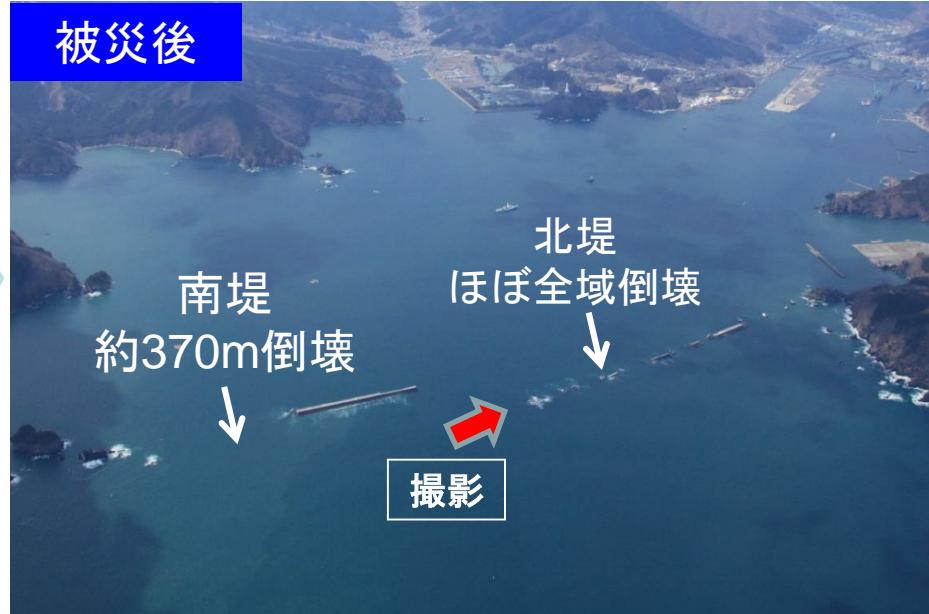
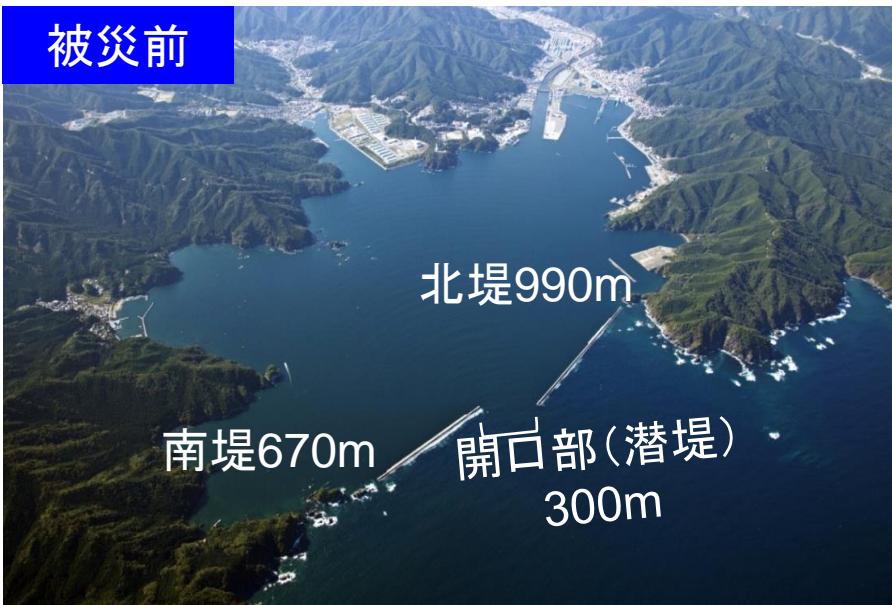
項目	H26年度				H27年度				平成28年度				平成29年度				
	上期		下期		上期		下期		上期		下期		上期		下期		
基本設計																	
詳細設計																	
施工（調整を含む）																	

※上記の工程は状況に応じて変更となる場合があります。

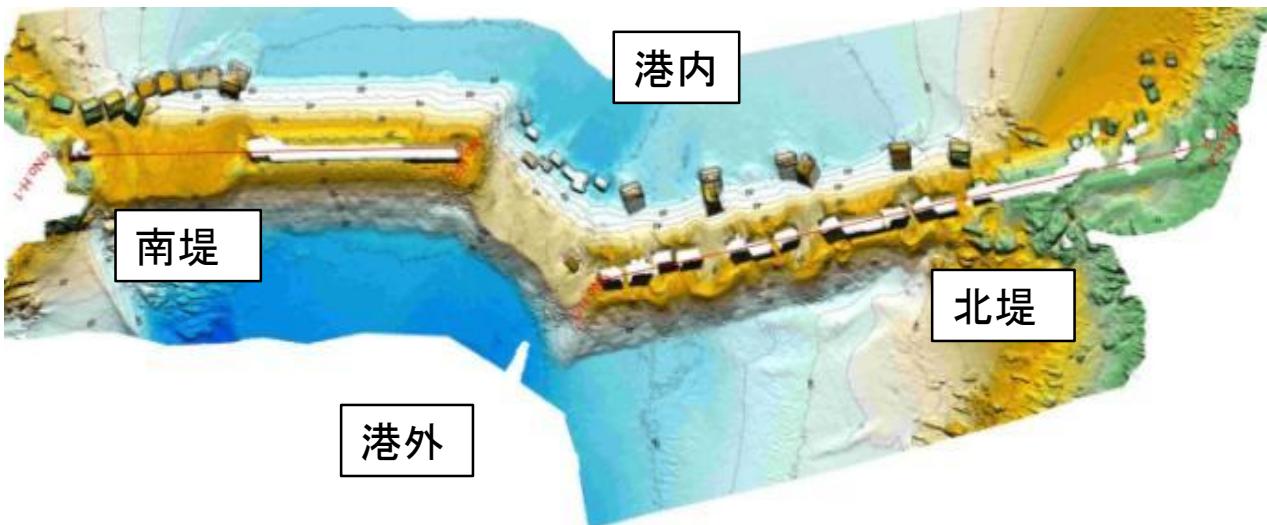
7. 釜石港湾口防波堤の復旧状況について

(国土交通省東北地方整備局釜石港湾事務所)

湾口防波堤の被災状況



ナローマルチビーム測量結果
(面的に海底を測量した結果)

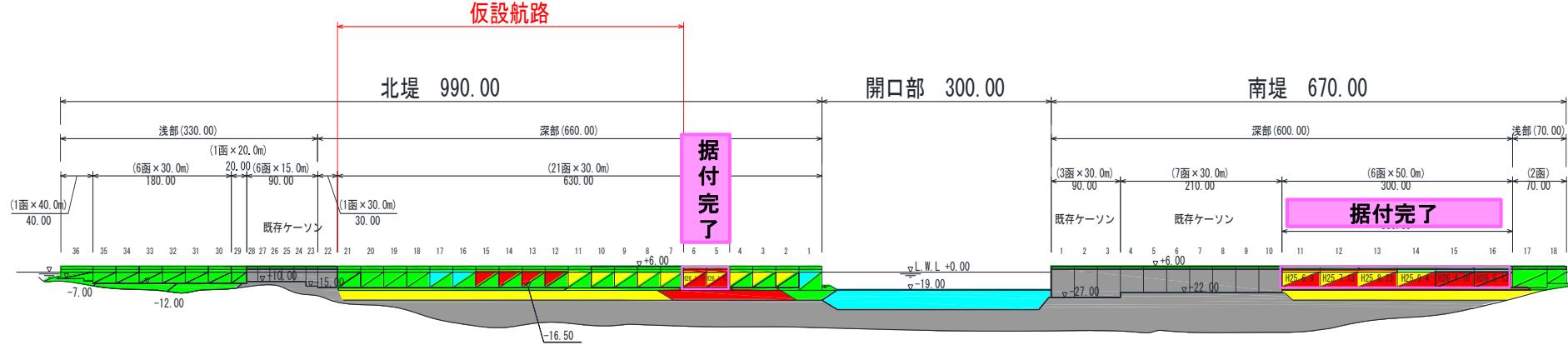


(撮影) 北堤の倒壊状況

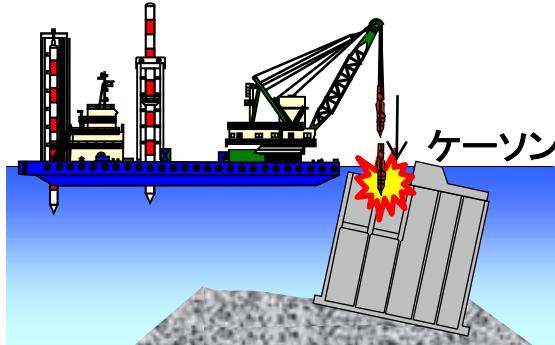


釜石港 湾口防波堤 復旧工程計画

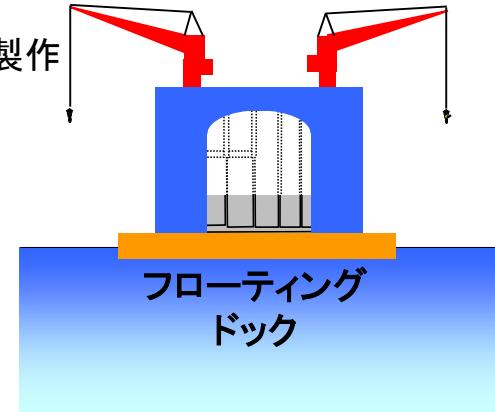
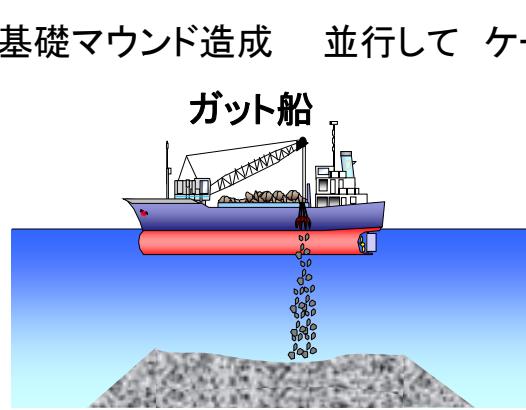
釜石港（災害復旧）縦断図（案）



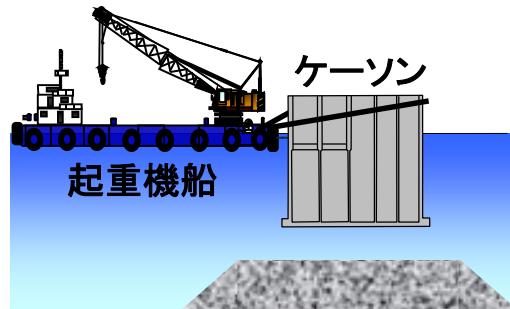
①被災ケーソン破碎、撤去



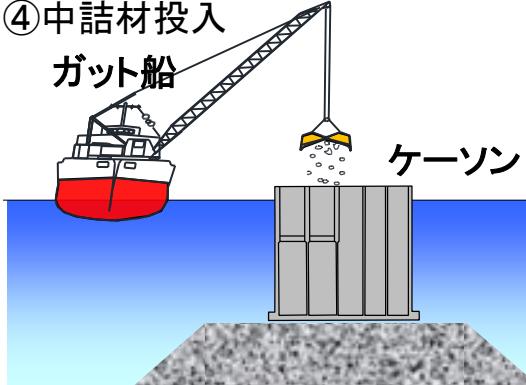
②基礎マウンド造成 並行して ケーソン製作



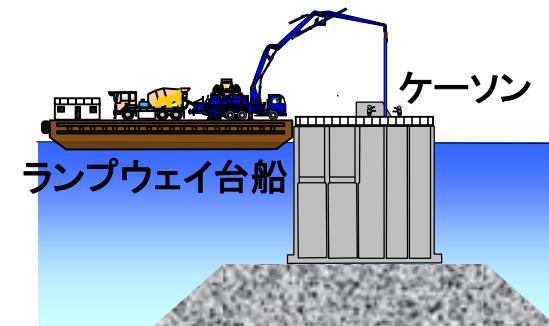
③ケーソン据付



④中詰材投入



⑤上部コンクリート打設



労務、資機材不足への対応(他地域でのHBケーソン製作)

○釜石港では労務、資機材不足への対応と工期短縮を図るため、他地域の応援によるハイブリッドケーソンの製作を千葉港、名古屋港、津松阪港の3箇所で長さ50mのケーソンを計6函行った。

○ハイブリッドケーソンは、鉄筋コンクリートに鋼材や鋼板を組み合わせた構造となっており、通常のケーソンに比べ、堤体幅が狭く、また施工延長方向に長尺とすることができるため、施工性に優れる。



ハイブリッドケーソン製作工程



施工順



ハイブリッドケーソンを通じた交流

三重県津市

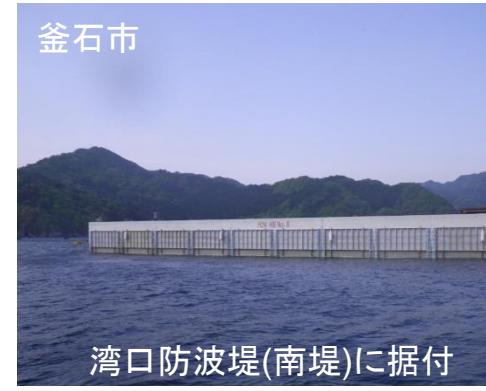


ハイブリッドケーソン製作

ハイブリッドケーソンの釜石入港



釜石市



湾口防波堤(南堤)に据付

津市立香良洲小学校から(H26.2)

応援メッセージ



横断幕による応援メッセージ

釜石市長への
ビデオレター贈呈

船上からの防波堤
見学 H27.7

ビデオレター



ハイブリッドケーソンが製作された津市から小学生の熱い気持ちが届けられた。

白山小学校からのお礼贈呈式(H27.11)

御礼の除幕式

「釜石港の今」を説明



釜石市立白山小学校から(H27.10)

香良洲小学校へお礼メッセージ



釜石市長へメッセージの報告→

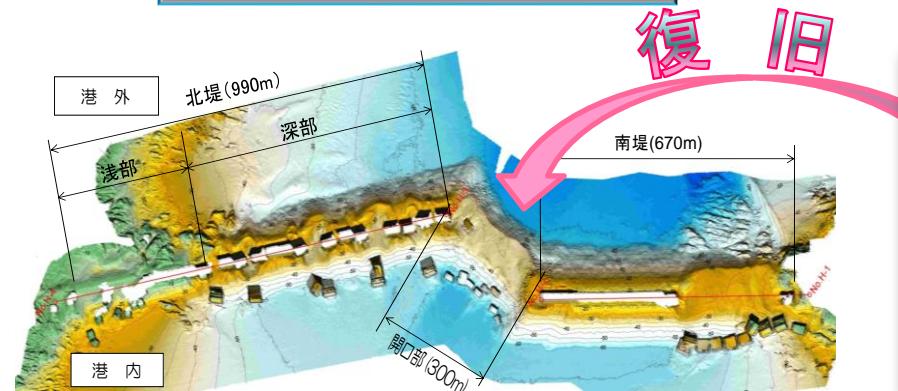
←釜石市長からの御礼の手紙



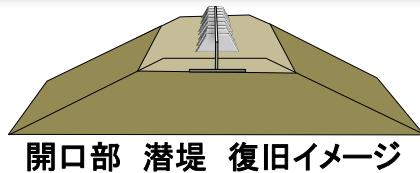
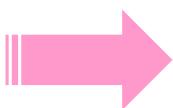
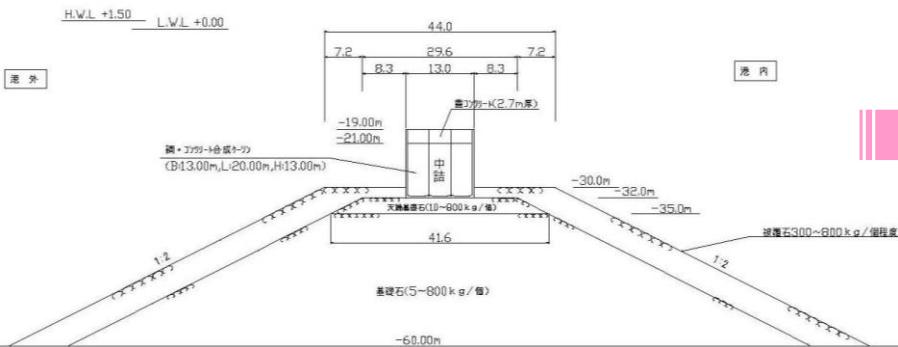
開口部 潜堤逆T型ブロックの構造

- 津波を防ぐため、大型船航行に必要な水深を確保しつつ、航路の下に潜堤を設置。
- 当初の建設時には、HBケーンソング構造の潜堤を築造したが、震災により流出。
- 残った基礎マウンドを利用し、水中作業の容易性、構造の信頼性等から逆T型ブロック構造を採用し、潜堤を復旧中。

ナローマルチビーム測量結果



開口部 潜堤横断図



8. 意見交換
